

「第19代大森代官 井戸平左衛門公／大田市内の頌徳碑 総覧」 発刊にあたって

この冊子は、大田市教育委員会の委託を受けて、大田市内の井戸平左衛門公の頌徳碑（以下「井戸公碑」）を大田市文化協会が調査し、まとめたものです。

井戸公碑は6ページのグラフにあるように、島根、鳥取、広島、岡山の中国地方4県に約500基が建てられています。このうち、大田市内には井戸神社（大森町）を含めて97基ありますが、これまで、一覧としてまとめられたものがなく、2012年（平成24）に大田ロータリークラブが「井戸平左衛門正明公頌徳碑大田市内分布マップ」として発行されたものが唯一のものでした。

このたび、冊子としてまとめるにあたっては、約500基の井戸公碑を調査された大田市川合町の故宮本豊さんの調査資料やロータリークラブの冊子を参考にしながら、大田市内のすべての頌徳碑を訪ね歩きました。その中で、宮本調査にあるもののうち、令和2年度時点では存在が確認できなかったもの、及び、ロータリークラブの冊子に掲載されているもののうち、恒松隆慶碑や松浦屋与兵衛碑などはこの冊子には掲載しないこととした結果、総数は97基となりました。

1基を1ページで紹介（長文の碑文があるものなどは2ページ）しており、町別に整理し、所在地、緯度経度、写真、寸法を記載。石碑に刻まれている文字を可能な限り判読し、最下部に国土地理院地図も添付しました。地図と緯度経度を掲載したのは、井戸公碑を訪ねる際の参考にさせていただきたいと考えたからです。また、1行目の表題部の（宮本No.）は宮本調査の番号、（ローター-No.）はロータリークラブのマップの番号を、参考のため記載しています。また刻字の判読では、1文字分が不明のものは「□」で、何文字あるかも不明なものは「……」と表記しています

わずか2年足らずの在任期間だったにもかかわらず数々の善政で領民を導き、領民が飢えで命を落とすことがないようにと、困難を押して薩摩国からサツマイモを導入した井戸公に感謝を捧げるとともに、この冊子が今後、井戸公の研究をされる方の少しでも参考になれば望外の喜びです。さらに、井戸公碑そのものはもちろん、建立に関わられた多くの先輩方を大田市の貴重な文化遺産として後世に語り継ぐための資料となれば幸いです。

調査にあたっては、多くの皆様にご尽力、ご指導、ご協力をいただきました。おかげさまで市内すべての井戸公碑を調査することができました。厚くお礼申し上げます。

2021（令和3）年3月

大田市文化協会 会長 石賀 了
（調査同行者 同協会事務局長 縄 田 力）